

日立ダイアグノスティックツールHDM-9000操作ガイド
BMW & MINI/CBS リセット(オイル交換後のリセットなど)/Ver.4.68以降

注意事項/必ずお読みください

- フロントブレーキまたはリアブレーキのリセットを行う場合、ブレーキパッドとパッド摩耗センサを同時に交換してからリセットを行って下さい。
- F シリーズ(F01,F10,F30 など)は、車両チェックとエンジンオイルが連動しています。同時にリセットを行う場合、先にエンジンオイルをリセットしてから行って下さい。
- 実際の作業に当たっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で作業手順、作業上の注意点をご参照の上、作業を行って下さい。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更される為、本資料に掲載する機能が使用できない場合がございます。

1. CBS リセットでリセットされる項目と操作手順の参照先について

車種	CBS 項目	リセット実行前に行う 設定手順の掲載ページ	CBS項目別操作手順 掲載ページ
2006y モデルまでの 1 シリーズ(E81,E82,E87,E88) 3 シリーズ(E90,E91,E92,E93) 5 シリーズ(E60,E61) 6 シリーズ(E63,E64)	エンジンオイル	2/10~4/10ページ	5/10ページ
	スパークプラグ		
	ブレーキ液		
	マイクロフィルタ		6/10ページ
	フロントブレーキ		
	リアブレーキ		
	車両チェック		7/10ページ
	法定点検(1年点検)		8/10~9/10ページ
	排ガス点検(車検)		
7 シリーズ(E65,E66)	エンジンオイル	2/10~4/10ページ	5/10ページ
	スパークプラグ		
	クーラント		
	マイクロフィルタ		6/10ページ
	ブレーキ液		
	フロントブレーキ		
	リアブレーキ		7/10ページ
	車両チェック		8/10~9/10ページ
	法定点検(1年点検)		
排ガス点検(車検)			
その他	エンジンオイル※	2/10~4/10ページ	5/10ページ
	ブレーキ液		6/10ページ
	フロントブレーキ		
	リアブレーキ		7/10ページ
	車両チェック		8/10~9/10ページ
	法定点検(1年点検)		
排ガス点検(車検)			

*(i3_I01 で 2015/11 より前の車両では表示されません。)

(次ページに続きます)

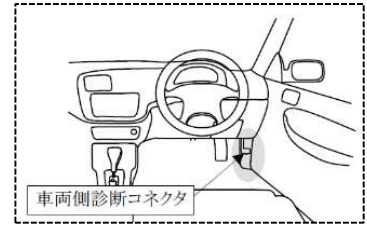
【手順001:HDM-9000内部の時計の設定】

リセットを実行する前に、必ずHDM-9000本体内部の時計を現在時刻に設定してください。

①HDM-9000を車両側診断コネクタに接続して下さい。

HDM-9000が起動します。

※右ハンドル車、左ハンドル車ともに運転席側のドア
付近に診断コネクタ(カバー付)がございます。



②HDM-9000メニューが表示されましたら、カーソルを「設定」
に合わせて ENTER キーを押してください。



③「設定」メニューが表示されましたらカーソルを「時計」に
合わせて ENTER キーを押してください。



④「時計」の設定画面が表示されます。左右キーでカーソルを
設定したい項目に移動させ、上下キーで日付や時刻を入力し、
最後に ENTER キーを押してください。

「設定」画面に戻りましたら、EXIT キーを押して「HDM-9000
メニュー」に戻ります。



【手順002:メーカー選択】

①「HDM-9000メニュー」が表示されましたら「診断」にカーソルを
合わせて ENTER キーを押してください。



②「メーカー選択」が表示されましたらカーソルを「輸入車」に
合わせてください。

右の欄のメーカー名一覧が輸入車のリストに切り替わり
ますので、カーソルを右の欄に移動させた後、方向キー
上下でカーソルを「BMW」に移動させて ENTER キーを
押してください。



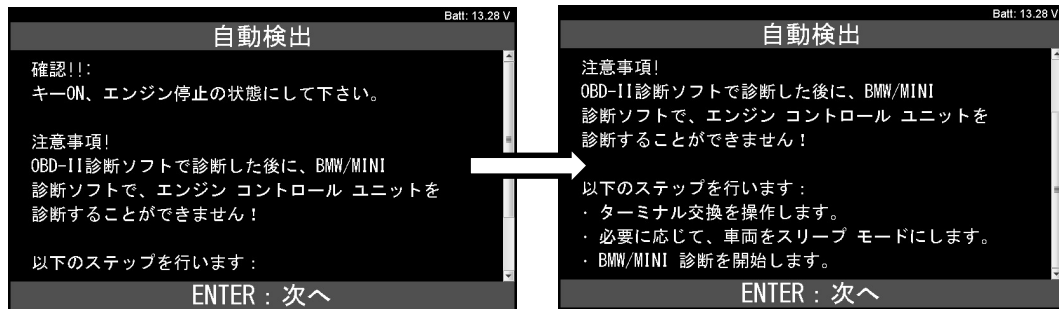
(次ページに続きます)

【手順003:車両選択の実行(自動検出)】

- ①「車両選択」が表示されましたら「自動検出」にカーソルを合わせて ENTER キーを押してください。

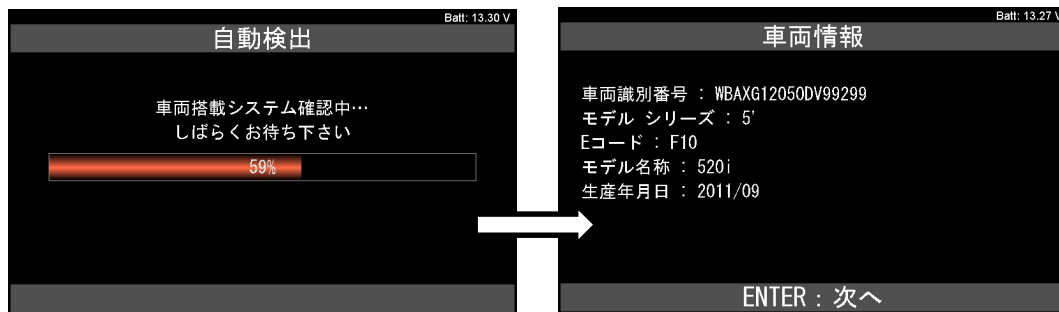


- ②操作に当たっての注意喚起のメッセージが表示されます。上下キーで画面をスクロールさせてメッセージの内容を確認されましたら ENTER キーを押してください。



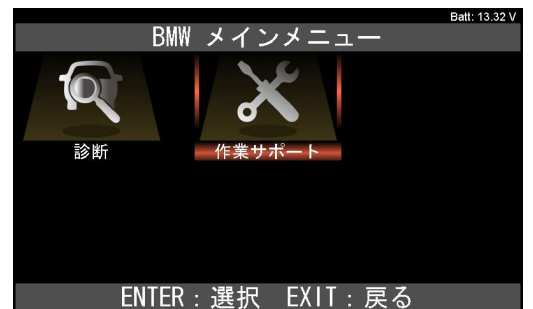
BMWソフトを実行前にグローバル OBD II 診断ソフトで車両との通信を行っている場合は、一度、車両側のイグニッションキーをオフにしてから、再度、ON にしてください。

- ③「車両システム確認中」が表示され、システムの確認が完了すると「車両情報」が表示されます。表示されている車両情報を確認後、ENTER キーを押してください。

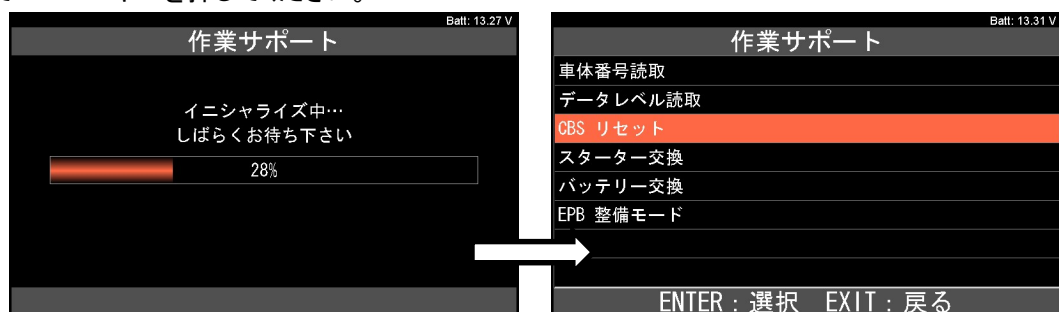


【手順004:BMW メインメニューから CBS リセットの起動まで】

- ①「BMW メインメニュー」が表示されましたら、カーソルを「作業サポート」に合わせて ENTER キーを押してください。



- ②「イニシャライズ中...」と表示され、次に「作業サポート」画面が表示されます。「CBS リセット」にカーソルを合わせて ENTER キーを押してください。



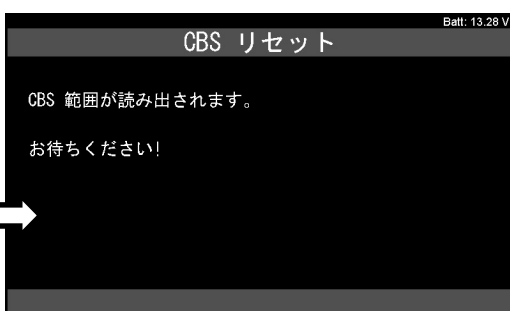
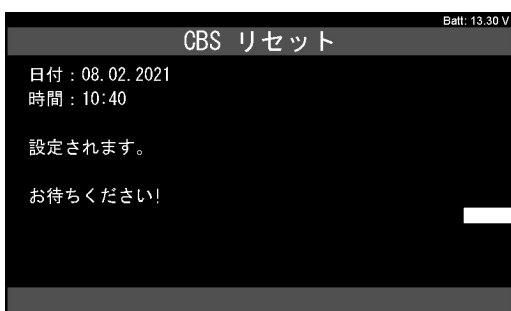
(次ページに続きます)

【手順005:車両の日付と時刻設定から CBS 範囲の読み取り】

①車両の日付と時刻設定の画面が表示されます。手順001の④と同じく上下左右キーで「今日の日付」を入力して ENTER キーを押してください。続いて「現在の時間」が表示されますので上下左右キーで時刻を入力した後、ENTER キーを押してください。

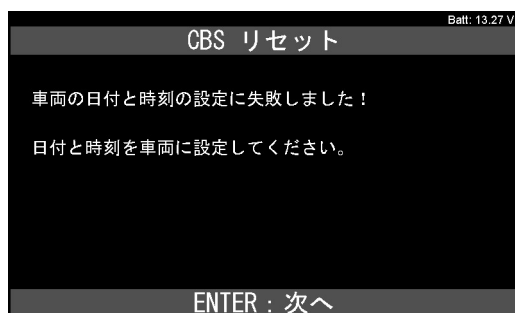


②日付と時刻の設定が開始されます。その後、CBS 範囲の読み出しが開始されます。



【補足】

上記の①②をキャンセル、または③の時間設定が出来なかった場合は右の画面が表示されます。その際は車両側の日付を手動で設定してください。



【手順006:「選択、CBS 範囲のリセット」の表示】

右図のリセット項目一覧が表示されます。それぞれの項目のリセット方法は下記(イ)～(二)を参照ください。

(イ)エンジンオイル、スパークプラグ、マイクロフィルタ、ブレーキフルード
⇒5/10ページ「3.エンジンオイルのリセット」

(ロ)フロントブレーキまたはリアブレーキ
⇒6/10ページ「4.ブレーキのリセット」

(ハ)車両チェックのリセット⇒7/10ページの「5.車両チェックのリセット」

(ニ)法定点検または排気ガス点検⇒8/10ページ「6.法定点検リセット」



【補足】

2シリーズ(F45,F46)、I3(I01)、MINI(F55,F56)などのフロントブレーキまたはリアブレーキは、右上の図のようにパーセントの表示ではなく、パッドが正常である時は「未算出」、異常になると残りの距離が表示されます。



3.エンジンオイルのリセット

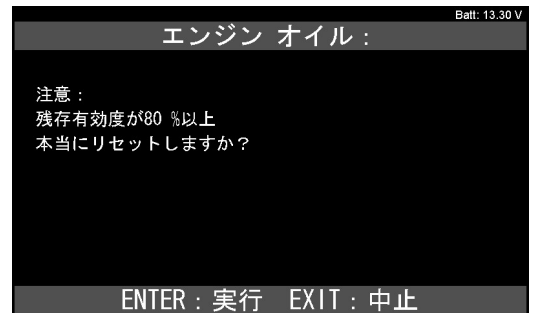
【手順001:エンジンオイルの選択】

リセット項目一覧の「エンジンオイル」にカーソルを合わせて ENTER キーを押してください。



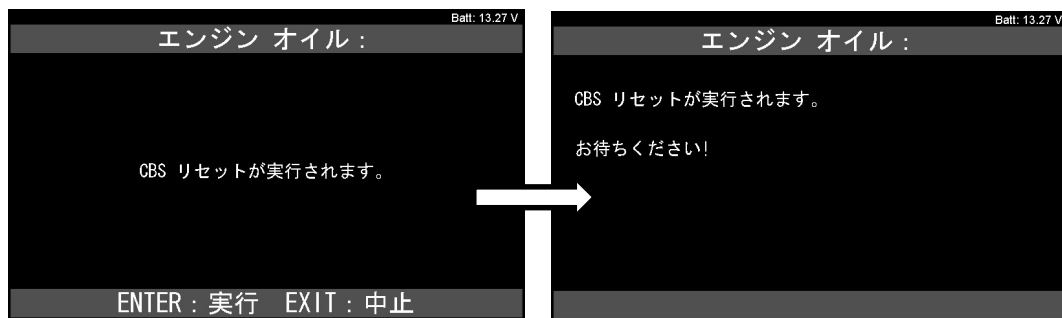
【補足】

カーソルを合わせた項目の値が80%以上の場合、ENTER キーを押すと右のような画面が表示されます。状況を確認後、ENTER キー(実行)または EXIT キー(中止)を押してください。



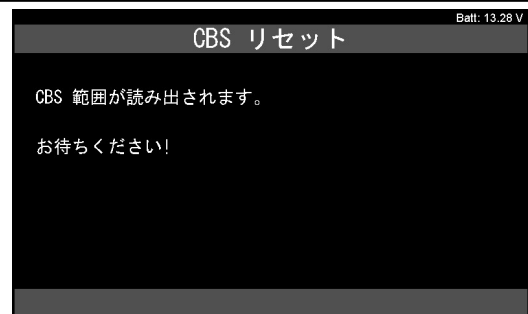
【手順002:リセットの実行】

「CBS リセットが実行されます」と表示されます。ENTER キーを押すとリセットが開始されます。



【手順003:リセット後の値の読み取り】

リセットが完了すると、リセット後の値の読み取りが開始されます。
※リセットが完了されない場合の表示は10/10ページの「7.リセット未完了時のメッセージ一覧」を参照ください。



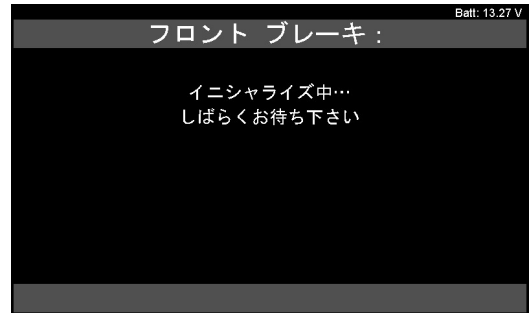
【手順004:リセット後の状態確認】

リセット項目一覧が表示されます。リセット後の値が100%になっているか確認してください。(完了)



4.ブレーキのリセット(例:フロントブレーキ)

- ①リセット項目一覧の「フロントブレーキ」にカーソルを合わせて ENTER キーを押してください。
- ②「イニシャライズ中」と表示され、最初にパッドセンサの状態をチェックします。(右図)
- ③「CBS リセットが実行されます」と表示されましたら、ENTER キーを押してください。リセットが実行されます。
※リセットが完了されない場合の表示は10/10ページの「7.リセット未完了時のメッセージ一覧」を参照ください。
- ④リセット後の状態読み取り画面が表示されます。
- ⑤「選択、CBS 範囲のリセット」が表示されましたらフロントブレーキの値がリセットされたか確認してください。



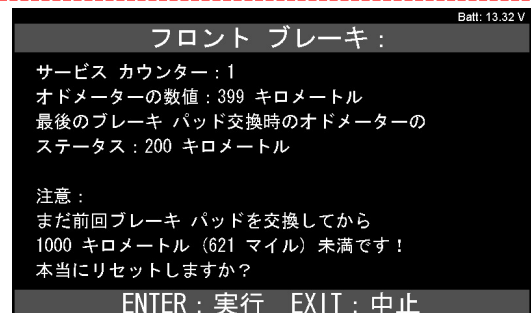
【補足1】

上記②を実行した際、センサが摩耗または故障などの異常である場合、下図のメッセージが表示されます。方向キー上下で画面をスクロールさせてメッセージの内容を確認し、パッド摩耗センサを交換していない場合は EXIT キーを押して中止します。交換している場合は ENTER キーを押してください。



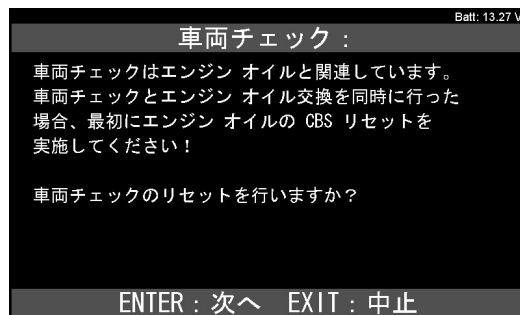
【補足2】

2シリーズ(F45,F46)、I3(IO1)、MINI(F55,F56)などのフロントブレーキ、またはリアブレーキの状態がリセットしてから1000kmを満たない場合、右の画面が表示されます。



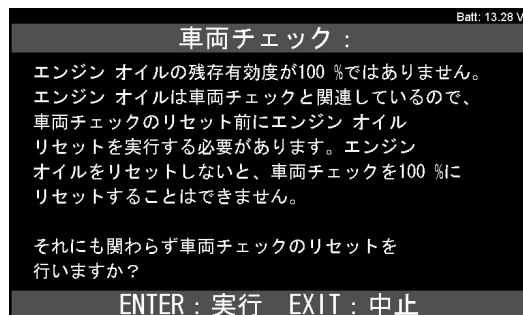
5.車両チェックのリセット(例:フロントブレーキ)

- ①リセット項目一覧の「車両チェック」にカーソルを合わせて
ENTER キーを押してください。
- ②右図の画面が表示されます。(補足1も参照ください)
- ③「CBS リセットが実行されます」と表示されましたら、
ENTER キーを押してください。リセットが実行されます。
※リセットが完了されない場合の表示は10/10ページの
「7.リセット未完了時のメッセージ一覧」を参照ください。
- ④リセット後の状態読み取り画面が表示されます。
- ⑤「選択、CBS 範囲のリセット」が表示されましたら車両チェックの値がリセットされたか確認してください。



【補足】

エンジンオイルの値が99%以上ではない場合は右図が
表示されます。



6.法定点検のリセット

【注意】

- 車両側の日付と時刻が正しく設定されているか確認して下さい。正しく設定されていない場合は、手動で日付と時刻を設定して下さい。
- 点検時期の入力する時期は以下の設定を参考にして下さい。
 - 法定点検(1年点検、初年度登録時から1年目のみ)⇒リセットする日付+1年
 - 法定点検(1年点検)、排ガス点検(車検)⇒リセットする日付+2年

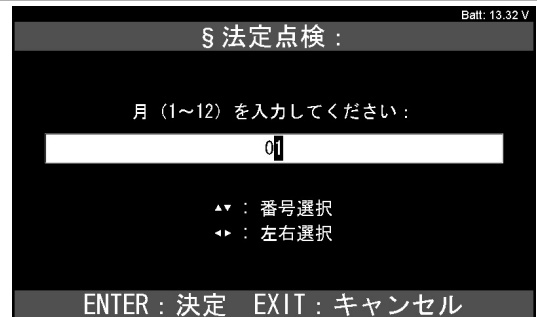
【手順001:法定点検の選択】

リセット項目一覧の「法定点検」にカーソルを合わせて
ENTER キーを押して下さい。

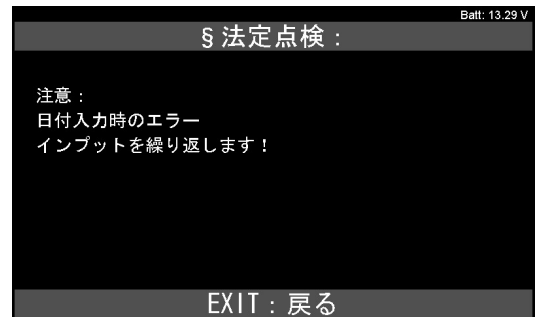


【手順002:日付(月)の入力】

日付の月の入力画面が表示されましたら方向キーを操作
して ENTER キーを押して下さい。

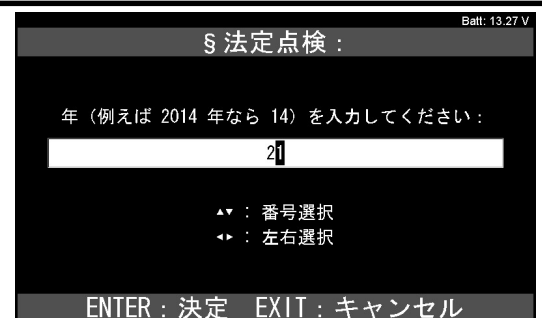


【補足】日付の入力を間違えると右図が表示されます。

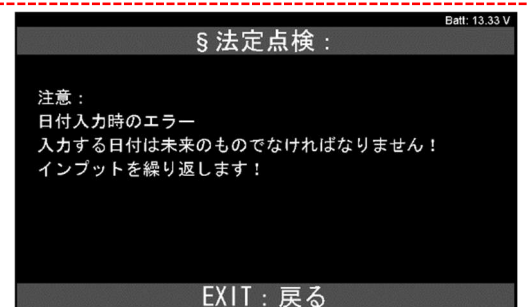


【手順003:日付(年)の入力】

日付の年の入力画面が表示されましたら方向キーを操作
して ENTER キーを押して下さい。
(2018~2061までの間で下2桁を入力)



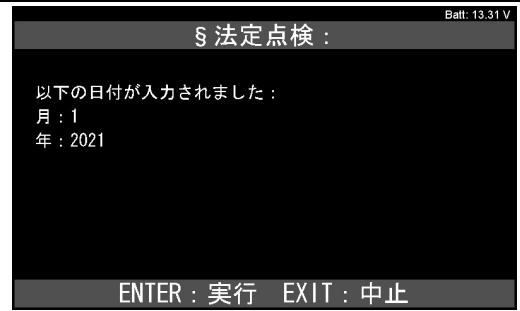
【補足】日付の入力を間違えると右図が表示されます。



(次ページに続きます)

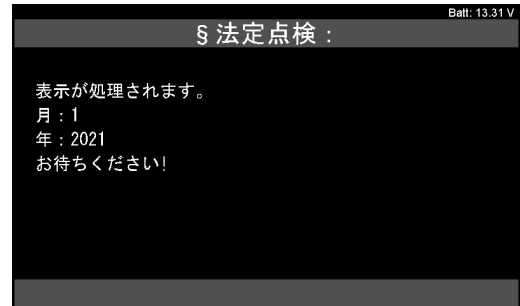
【手順004:入力した日付(月と年)の確認】

入力した日付の確認画面が表示されます。確認後、正しければ ENTER キーを押してください。



【手順005: CBS リセットの開始】

CBSリセットが開始されます。



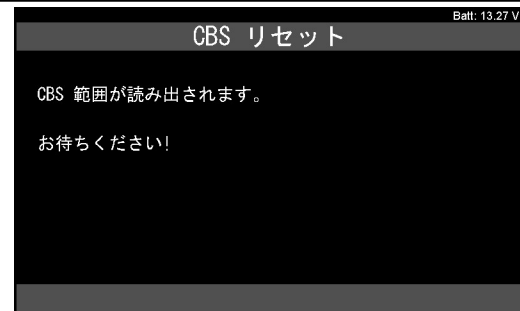
【補足】

リセットが完了しない場合、右図の画面が表示されます。



【手順006:リセット後の値の読み取り】

リセットが完了すると、リセット後の値の読み取りが開始されます。



【手順007:リセット後の値の読み取り】

右図の画面になりましたら、設定した項目の日付が正しく表示されているか確認して下さい。(完)



7.リセット未完了時のメッセージ一覧

<p>【エンジンオイル】</p>	<p>エンジン オイル :</p> <p>エンジン コントロール ユニットはエンジン オイルの CBS リセットを実行しませんでした。2 回リセットを試みても CBS リセットが行われない場合、エンジン コントロール ユニットのトラブルシューティングを行います！故障の除去が正しく行われた後、CBS リセットを新たに行います。すべてのディフェクト メモリー登録の原因を除去します！</p> <p>ENTER/EXIT : 終了</p>	<p>エンジン オイル :</p> <p>ユニットのトラブルシューティングを行います！故障の除去が正しく行われた後、CBS リセットを新たに行います。すべてのディフェクト メモリー登録の原因を除去します！</p> <p>CBS リセットの不具合に関する既知の原因： <ul style="list-style-type: none"> ・ オイル レベル センサーの故障 ・ エンジン コントロール ユニットがコーディングされていない </p> <p>ENTER/EXIT : 終了</p>
<p>【ブレーキ】</p>	<p>フロント ブレーキ :</p> <p>DSC コントロール ユニットはフロント ブレーキ パッド CBS リセットを実行しませんでした。2 回リセットを試みても CBS リセットが行われない場合、DSC コントロール ユニットのトラブルシューティングを行います！故障のトラブルシューティングが正しく行われた後、CBS リセットを新たに行います。すべてのディフェクト メモリー登録の原因を除去します！</p> <p>ENTER/EXIT : 終了</p>	<p>フロント ブレーキ :</p> <p>除去します！</p> <p>CBS リセットの不具合に関する既知の原因： <ul style="list-style-type: none"> ・ ブレーキ パッド摩耗センサーが新品に交換されていません ・ パーキング ブレーキが操作されているか、ブレーキ ペダルが踏まれています。パーキング ブレーキを解除し、車両が動き出さないように固定します。 </p> <p>ENTER/EXIT : 終了</p>
<p>【ブレーキフルード】</p> <p>【クーラント】</p>	<p>ブレーキ フルード :</p> <p>メーター パネルはブレーキ フルードの CBS リセットを実行しませんでした。2 回リセットを試みても CBS リセットが行われない場合、メーター パネルのトラブルシューティングを行います！故障の除去が正しく行われた後、CBS リセットを新たに行います。すべてのディフェクト メモリー登録の原因を除去します！</p> <p>ENTER/EXIT : 終了</p>	<p>クーラント :</p> <p>メーター パネルはクーラント CBS リセットを実行しませんでした。2 回リセットを試みても CBS リセットが行われない場合、メーター パネルのトラブルシューティングを行います！故障の除去が正しく行われた後、CBS リセットを新たに行います。すべてのディフェクト メモリー登録の原因を除去します！</p> <p>ENTER/EXIT : 終了</p>
<p>【車両チェック】</p>	<p>車両チェック :</p> <p>車両チェックリセット前のエンジン オイルの残存有効度が100 %であった場合以外、車両チェックリセットで満タンの残存有効度 (100 %) に届くことはできません。</p> <p>車両チェックのリセットが 2 回目のリセット試行後にも実行されない場合、メーター パネルのトラブルシューティングを行います！故障の除去が正しく行われた後、CBS リセットを新たに行います。</p> <p>ENTER/EXIT : 終了</p>	<p>車両チェック :</p> <p>リセットで満タンの残存有効度 (100 %) に届くことはできません。</p> <p>車両チェックのリセットが 2 回目のリセット試行後にも実行されない場合、メーター パネルのトラブルシューティングを行います！故障の除去が正しく行われた後、CBS リセットを新たに行います。すべてのディフェクト メモリー登録の原因を除去します！</p> <p>ENTER/EXIT : 終了</p>
<p>【スパークプラグ】</p> <p>【マイクロフィルタ】</p>	<p>スパーク プラグ :</p> <p>メーター パネルはスパーク プラグ CBS リセットを実行しませんでした。2 回リセットを試みても CBS リセットが行われない場合、メーター パネルのトラブルシューティングを行います！故障の除去が正しく行われた後、CBS リセットを新たに行います。すべてのディフェクト メモリー登録の原因を除去します！</p> <p>ENTER/EXIT : 終了</p>	<p>マイクロ フィルター :</p> <p>IHKA コントロール ユニットはマイクロ フィルター CBS リセットを実行しませんでした。2 回リセットを試みても CBS リセットが行われない場合、IHKA コントロール ユニットのトラブルシューティングを行います！故障の除去が正しく行われた後、CBS リセットを新たに行います。すべてのディフェクト メモリー登録の原因を除去します！</p> <p>ENTER/EXIT : 終了</p>